

朝倉駅周辺のまちづくりについて

平成30年4月 11号







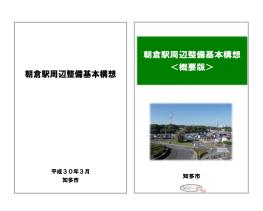


朝倉駅周辺を、にぎわいの交流拠点とするための取り組みをお伝えします。

朝倉駅周辺整備基本構想を策定しました。

名鉄朝倉駅を核とした駅周辺地域を、にぎわいの交流拠点とするため、整備の基本的な考え方として、平成30年3月に「朝倉駅周辺整備基本構想」を策定しました。

平成 29 年 8 月に「朝倉駅周辺整備計画調査検討会議」から提出された調査検討報告書や、平成 29 年 9 月から 10 月にかけて開催した「知多市朝倉駅周辺整備計画 未来を語るワークショップ」で提案された意見などを基に、以下の項目について記載しています。



基本構想の概要

1. 地区の現況・課題の整理

右下図赤枠で囲われた計画対象地区(地区面積:約 10ha)について、現況を整理し、まちづくりに向けた課題をまとめています。

現況

- ・朝倉駅は乗降客数1日あたり約8千 人の本市の主要駅だが、市民や駅利 用者が集い、安全に滞留できる空間 が不足
- ・計画対象地区内には、市役所や駅前 広場などが、地区周辺には勤労文化 会館や市民体育館などが立地してい るが、市の玄関口にふさわしいにぎ わいがない
- ・朝夕の通勤ラッシュ時には、計画対象地区に接続する都市計画道路朝倉線に**交通が集中し、渋滞が発生**



課題

- ・市民や駅利用者にとっての快適 さや憩いの空間が必要
- · 都市機能の集積と有効な土地利 用によるにぎわいの創出が必要
- · 道路交通を中心とした交通アク セスの改善が必要



■施設の立地状況

2. 計画対象地区の整備の基本的な方向性

まちづくりのコンセプト

知多市の玄関口にふさわしい "顔"づくり

広域圏に開かれたにぎわい・交流拠点 づくりを進め、市の活性化を先導する



整備の基本的な方向性

- ○中心拠点としての都市機能の誘導
- ○居住者・来訪者の集い・憩いの場の提供
- ○市の特性、個性を活かしたまち

3. 計画対象地区のポテンシャル分析と市民ニーズ等

6つの主な機能のポテンシャル (潜在能力・可能性) について、以下のように分析しています。

住宅機能

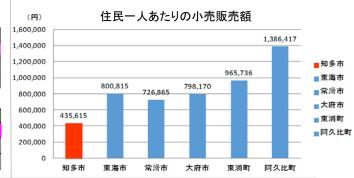
転入者・転出者アンケートにおいて、「通勤 通学等交通上の利便性」を最も重視する傾 向が見られるため、**駅至便の計画対象地区** は優位となっています。

項目	男性	女性	無回答	合計
通勤通学等交通上の利便性	163	84	3	250
親(子)等との距離	54	42	0	96
地価・家賃等の経済性	52	34	0	86

転出者				(人)
項目	男性	女性	無回答	合計
通勤通学等交通上の利便性	178	119	3	300
買い物等商業的な利便性	42	36	2	80
親(子)等との距離	36	40	1	77

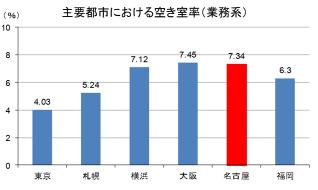
商業機能

大型店舗は近隣市町に充足していますが、 駅利用者や近隣住民の需要に対応した近 隣型商業施設が不足しており、その充実が 求められています。



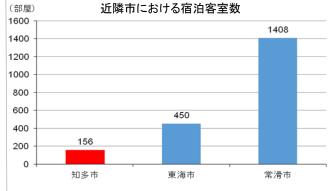
業務機能

市内の第 3 次産業の事業所数、従業者数 はともに減少傾向であること、名古屋市 全体の空き室率は高いことから、計画対 象地区において、**業務機能単独での配置** は難しいと考えられます。



宿泊機能

近隣市に比べて客室数が少なく、増加が 予想される宿泊者への対応ができないこ とから、**宿泊機能の誘導が求められてい** ます。



交流

中部国際空港のターミナル増設(平成 31 年度供用開始予定)や、リニア中央新幹線の開通と西知多道路の整備(平成 39 年度開通予定)等の効果、影響により、知多市においても、広域交流人口の増加が予測されます。

公共施設

「知多市公共施設等総合管理計画」において、老朽化が著しい市役所は、建替えも視野に入れた調査・検討を進めていくこととしています。また、知多市保健センターが旧知多市民病院施設に移転するなど、公共施設の再編が進んでおり、跡地となる市有地の利活用が課題です。

また、市民ニーズ等について、「朝倉駅周辺整備計画調査検討会議」からは有識者等の意見が、職員・市民ワークショップからは市民・利用者等の意見が提案されています。

朝倉駅周辺整備計画調査検討会議

学識経験者、コミュニティ代表、交通事業者、各種団体、行政機関の構成員からなる会議(計5回開催)で、平成29年8月、同会議から調査検討報告書が提出され、本向根策定の基本的な方向性が示されました。



職員ワークショップ

市の若手・中堅職員によるワークショップ(計 2 回開催)で、「市民や、日常的に朝倉駅を使う人をターゲットとして利用してもらう」、「複合化された目的地にする」といった意見が提案されました。

市民ワークショップ

知多市在住・在勤・在学の方 42 名によるワークショップ(計 3 回開催)で、「便利な駅前のにぎわい空間」、「緑あふれるくつろぎとにぎわいの空間」、「歩いてくらすゆとりのまち」といった、利用者目線での多様な意見が提案されました。



ポテンシャル分析や、朝倉駅周辺整備計画調査検討会議の意見、市民ワークショップ等の意見を踏まえ、計画対象地区における各機能の、整備の考え方について、以下のようにまとめています。

機能	整備の考え方
住宅	· 緑にあふれ、快適でゆとりのある居住空間が望ましい
	・ 夜間や雨天時も安心して駅まで行き来できる動線確保が望ましい
	· アクセス性に優れ、広い面積が確保できる場所が望ましい
	・ 単に買い物だけでなく、飲食や読書、交流など、利用者の多様なニーズに応えられる複合的
商業	な商業施設 が望ましい
阿未	・ 安全な歩行者動線が確保され、開放的な雰囲気で買い物を楽しめる空間が望ましい
	・ 企業による商業施設だけでなく、個人事業者や地元農家などが気軽に出店できる芝生広
	場のようなスペースの確保 が望ましい
業務	・ 業務機能単独での配置は難しいが、 商業機能の誘致に合わせ、多様な雇用の場を創出 する
未伤	ことが望ましい
	・ 利用者の多くは公共交通機関を利用すると想定されるため、駅に近い場所が望ましい
宿泊	· 宿泊しない市民や来訪者も利用できる飲食店等も併設することが望ましい
	・ 臨海部の企業ニーズ等も勘案し、多目的に利用できるホールを整備することが望ましい
	・駅前広場や商業空間等を活用した 交流の場の創出 が望ましい
交流	· 自由に出入りでき、お金をかけずに長時間滞在できるスペースの確保が望ましい
又加	· 子育て世代や高齢者などにも配慮した施設・空間の整備が望ましい
	· 知多市らしさを表現し、待合わせ場所になるようなシンボルの整備が望ましい
	・ 駅に近く、利便性が高いため、市民の交流を促進する場所の確保が望ましい
公共	· 市民が自由に使え、新たな交流を促す機能の複合化が望ましい
<u> </u>	· 子どもを安心して預け、働きに行ける保育施設を整備することが望ましい
	・ 強固な地下地盤に杭を打ち込み建物崩壊を防止するなど、十分な対策を進める

4. 街区区分と街区イメージ

ポテンシャル分析と市民二ーズ等を踏まえ、計画対象地区を、現市役所が位置する**北街区**、 駅前広場や駐車場となっている**中街区**、旧保健センターがある**南街区**の3街区に分け、各街区 のイメージや、計画対象地区内に必要な施設を、次のように定めています。

【街区区分】

計画対象地区に必要な 公共公益的施設

- 市役所(中街区)
- 図書館
- 子育て支援施設
- 駅前広場、キス&ライド*施設(中街区)
- · 駐車場、自転車駐車場
- 北街区と中街区を結ぶ歩道橋
- ※ キス&ライド…鉄道を利用する 場合に、駅まで自家用車で送迎 してもらう方法

				北街区	現況の土地利用面積	大儿 712 WAS
				用途	面積(㎡)	文化・スポーツ機能(既存)
				宅地	33,950	(86117)
				道路	10,510	
				水路·緑地	9,580	1000
				計	54,040	
					1/	
		中街区	現況の土地	利用面積	Y	
		用途	面積	(m)		
		宅地	19,	900		
		駅前広場	10,	900		
		道路		750		
		計	37,	550		
	南	街区 現	況の土地利用		尺前広場	
Iг		用途	面積(㎡)		3/12	
H		包地	7,100		The state of the s	駅 舎
H	_	直路	4,640			
lŀ	_	計	11,740			
1		н	11,710		65 4118	
				15		
				1		
					福祉機能(既存)	
				-		

【街区イメージ】

北街区

- ○商業・交流にぎわいゾーンとして、商 業機能を中心に、文化・娯楽等の**多様な機能の集積を図る街区**とします。
- ○北側の文化・スポーツ施設と連携しながら、市民の多様なニーズに応えられる、知多市の商業・交流・にぎわい拠点を形成します。

中街区

- ○市役所などの行政機能や駅利用者のための商業機能が複合したシビックコアゾーン(官民複合地区)として、駅前広場等の優れた交通結節機能を活かした、計画対象地区の中核的役割を担う街区とします。
- ○行政機能(市役所等)及び交通結節機能(駅前広場等)と一体となって、市民サービスの利便性向上、交流を促進するとともに、知多市の玄関口にふさわしいにぎわいの形成を図ります。

南街区

- ○住宅ゾーンとして、優れた交通結節機能や 北街区、中街区の開発による生活利便性の 向上を背景に、新たに定住を促進する街区 とします。
- ○北街区、中街区の開発による生活利便性の 向上を背景に、市外からの転入者を呼び込 めるような魅力の高い定住拠点を形成し ます。

- ・多くの市民が集い・楽しめる、商業・ にぎわいの創造
- ・ 快適な憩い・くつろぎの空間の創出
- ・全ての人が円滑に来訪できる、優れた アクセス性の確保
- ・ 生活利便の向上とにぎわいの創出
- ・安全で快適な交通結節点の創造
- ・優れた回遊性と滞留空間の確保

- ・生活利便性の高い住環境の創造
- ・良質で快適な居住空間の創出

ご意見・問合せ:

都市計画課朝倉駅周辺整備推進室

電 話: 0562-36-2667

E-MAIL: asakura@city.chita.lg.jp